

### 瑞宝双光章

### 消防 功 勞

佐々木重義さん（68歳・西磯ノ目）



佐々木さんは、昭和53年から平成28年までの38年間、町消防署に勤められました。この間、様々な訓練の指導に力を注ぎ、特に小型ポンプ操法の指導員として、長年にわたり消防団の訓練に尽力されました。平成27年からは町消防司令長・町消防署長として、地域住民の安心安全に努めるなど、消防の発展に尽くされました。佐々木さんは「訓練を重ねることで迅速・的確な現場活動が可能になります。訓練を継続するには多くの方々のご理解があったからこそと思います。支えてくださった皆さまに感謝いたします。」と話していました。

### 自然災害対策事業や治水対策事業への支援を国へ要望

10月23日、渡邊町長が財務省および国土交通省を訪問し、7月の大雨災害に関する要望書を提出しました。要望書では、自然災害対策に要する事業予算と人員の確保や、「雄物川圏域流域治水協議会」における治水対策への支援といった内容を盛り込み、災害に強いまちづくりへ向けた抜本的な取り組みの実施を要望しました。



金田勝年衆議院議員と財務省主計局の尾崎輝宏主計官



廣瀬昌由水管理・国土保全局長をはじめとする国土交通省職員の方々

### 五城目第一中学校で子ども人権デーの集い

11月7日、県人権啓発活動ネットワーク協議会が主催する、「子ども人権デーの集い」が五城目第一中学校で催されました。会場では、令和5年度県小学生人権標語コンテストおよび「第42回全国中学生人権作文コンテスト」県大会の最優秀受賞者への表彰式が行われました。また、受賞者による作品発表も行われ、生徒たちは、人権の



会場では、受賞した県内の小中学生が標語や作文を発表しました

尊重や、思いやりの心を持つことの大切さを学びました。五城目第一中2年生の館岡□□さんは、「人間を、その人が生まれた国や肌の色の違いを理由に差別することはよくないと改めて思いました。いろいろな個性をもつ人たちにとって、納得のいく未来をつくれるよう、互いに支え合い認め合うことが大切だと感じました」と話していました。

### 町 功 勞 者 表 彰 式 を 開 催

11月2日、町役場正庁で「令和5年度町功勞者表彰式」を行いました。式では、本年度新たに町功勞者に選出された元町民生児童委員協議会会長・加藤光儀さん（石崎）と元町消防団団長の小玉多智美さん（八田）の2人を表彰。その他、スポーツで全国的な水準の成績を残した方や、献血や寄付を通じて町に貢献した方10名の方を表彰しました。



加藤さんと小玉さんをはじめ、12名の方が表彰を受けられました

### 五城目小学校で学習発表会が開催

10月28日、五城目小学校で学習発表会が開催されました。今年のテーマは「ひびけ！251人の心のハーモニー〜一人一人が輝く最高のステージに〜」でした。発表会は、1年生による始めのあいさつで幕を開け、その後、学年ごとに日頃の学習の成果を発表。6年生は、自分たちの15年後の未来を描いた「同窓会ごっこ」を披露し、最後は、新校舎で初となる全校合唱で幕を閉じました。



6年生は、未来の自分たちを描いた「同窓会ごっこ」を披露

### 小玉重博さんが県産米交換会で各賞を受賞

11月2日から6日に行われた「第146回秋田県産米交換会」で、小玉重博さん（西野）が、サキホコレの品種で以下の賞を受賞されました。



受賞された小玉さん

- 第146回秋田県産米交換会  
〔水稲・サキホコレ〕
- 農林水産大臣賞
- 県知事賞
- 一等賞
- 第42回県産米品評会  
〔水稲うるち玄米・サキホコレ〕
- 県産米改良協会会長賞
- 特別賞（県知事賞）  
（最優秀賞）

### 町 金 婚 を 祝 う 会 を 開 催

10月24日、五城館で金婚を祝う会を開催しました。会には、町内に住む成婚から50年を迎えた夫婦53組のうち19組38人が参加。会場では、渡邊町長から各参加者へお祝い状を授け、また、会場ではゲストによる懐かしのヒットソングなどが披露されました。



金婚を迎えた参加者へ、町長からお祝い状が授与されました